

PRESS RELEASE

住まいと暮らしの
創造企業グループ
 長谷工グループ

2021年8月6日

建築を志す若手人材を育成

第15回『長谷工 住まいのデザインコンペティション』を実施 ～テーマ：狩猟採集の集合住宅～

(株)長谷工コーポレーション(本社：東京都港区、社長：池上 一夫)は、建築を志す若手の人材育成を目的に、学生を対象とした第15回『長谷工 住まいのデザインコンペティション』を実施します。

本デザインコンペティションは社会貢献活動の一環として2007年から継続して実施しており、毎回、社会課題や世相を反映したテーマを設定し、学生ならではの発想豊かなデザイン提案を全国より募集しています。

今回のテーマは「**狩猟採集の集合住宅**」です。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、近代化による機能主義な働き方、暮らし方への疑問が顕在化しています。IoTを使った在宅勤務で住宅とオフィスの境目がなくなったり、家が職場から帰るだけの場から、ずっと生活する場になりました。その一方で、他者との対面でのコミュニケーションの重要性も共有されるようになりました。つまり、一人ひとりにとって住宅に必要なものは何かが問われるようになりました。農耕のような場所との固定した関係を見直し、転々と移住するような生活を想定することで、凝り固まりつつある現状を見直すことができるのではないでしょうか。より多様な可能性を模索できるようになった変化の先に現れる集合住宅を提案していただきます。1次審査を通過した上位4案に対して公開の2次審査を行い最優秀賞を決定します。

(1) 第15回 「長谷工住まいのデザインコンペティション」概要

[課題] 狩猟採集の集合住宅

[応募資格] 2021年12月31日時点で学生であること

※大学院、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、専修学校(各種学校)など
※複数人で応募する場合は全員上記に該当のこと

[賞金] 最優秀賞1点100万円／優秀賞3点各50万円／佳作10点各10万円

[登録・作品提出締切] **2021年11月1日(月)必着** ※送付のみ受付、バイク便不可

[登録方法] デザインコンペティションホームページから

[1次審査] 2021年11月中旬

[公開2次審査・表彰式] 2021年12月12日(日)

[最終結果発表] 『新建築』2022年2月号および
当コンペティションホームページにて

[主催] (株)長谷工コーポレーション

[後援] (株)新建築社

[審査委員]

《審査委員長》

隈研吾 (東京大学特別教授 名誉教授)

《審査委員》

乾久美子 (乾久美子建築設計事務所代表・

横浜国立大学大学院 Y-GSA 教授)

藤本壮介 (藤本壮介建築設計事務所代表)

布施谷成司 (長谷工コーポレーション常務執行役員)

《ゲスト審査委員》

山極壽一 (総合地球環境学研究所所長)



ホームページ: <https://shinkenchiku.net/haseko/2021/>

(2) 第14回 「長谷工住まいのデザインコンペティション」結果

課題：「集まって生きるかたち」 登録総数：731件 応募総数：325点

【最優秀賞】(1点)

「ポケット×暮らし コミュニティを収納するかたち」 小野誠治 齋藤惇 (北海道大学)

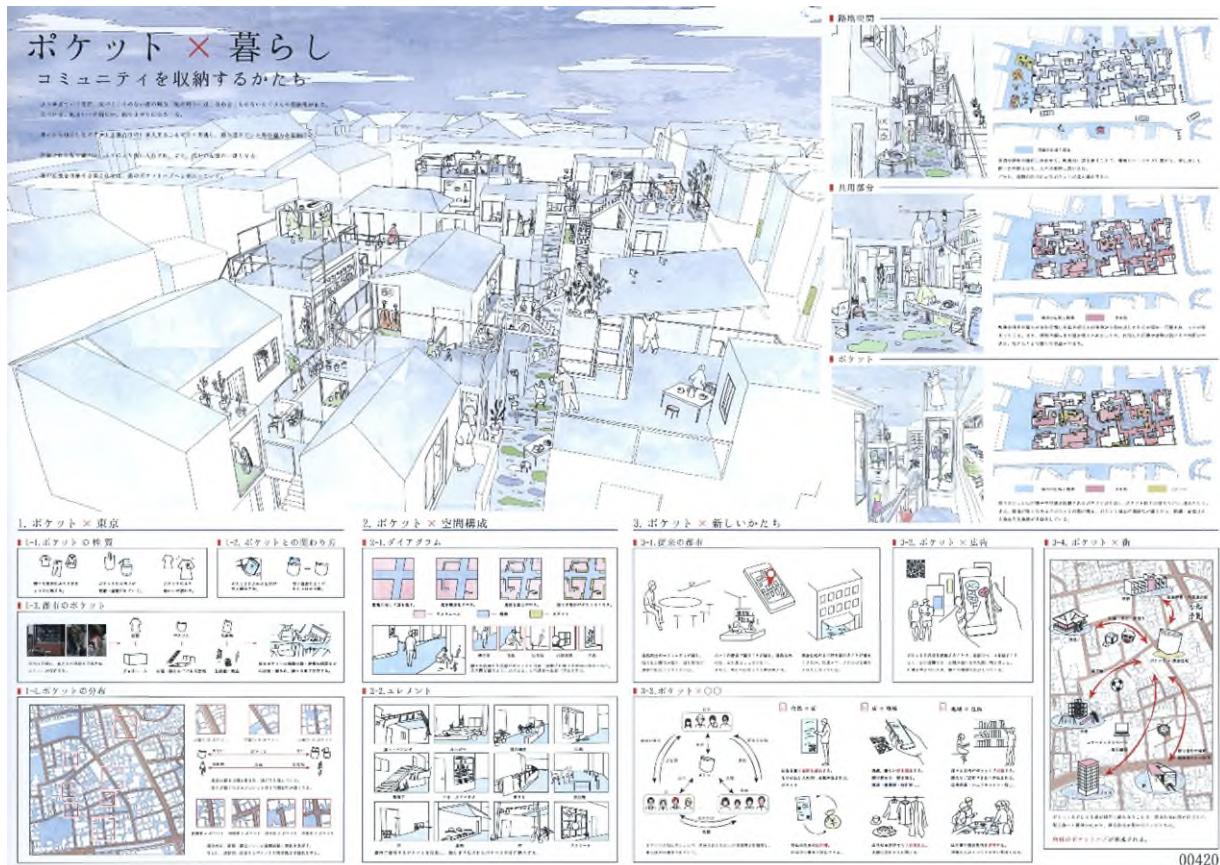
【優秀賞】(3点)

「家族のように暮らす 他人のように生きる」 野村凜太郎 (大分大学)

「火を囲むくらし」 神原夏穂 石家佳奈 (立命館大学)

「POROUS MULTI-STORY NAGAYA」 三浦光雅 (北海学園大学大学院)

【佳作】(10点)



[最優秀賞「ポケット×暮らし コミュニティを収納するかたち」]